



教育長の選任が待たれます



本木敏明議員

特別職人事

副町長・教育長不在の影響は

支障はないと考える

質問 もう一人の副町長と教育長の不在により行政に支障を生じないか。

佐藤町長 甲斐谷副町長を初め所管課長、学校現場や事務局の協力を得て、支障がないよう努力していく。

質問 県からの副町長の派遣を年度途中のため年度末まで待つということだが、副町長二人制は町長の選挙公約であり、年度途中での要請は織り込み済みと思うが。

佐藤町長 県は有能な人材の派遣を予定しており、年度途中の異動は支障が多いので、年度末まで待つてほしいとのことである。

質問 教育長も現職校長からの起用のため年度末まで待つとあるが、来年度の教育予算編成と人事異動作業は、責任者である教育長不在のまま果たしてできるのか。

菊池教育次長 予算については前教育長の施策を継承し、人事については学校長

や教育事務所の協力を得て対応していきたい。

質問 来年度の人事異動についても前教育長が関わっているというが、辞めて町に対して何の資格もない前教育長が重要な人事案件に関与することは、町の教育行政に悪弊を残すのではないか。

菊池教育次長 私は平成24年4月から現在の部署に来て、まったく人事について分からないため、前教育長からノウハウなどの指導を受けている。

質問 このように町の主要ポストが不在なため、目に見えないところで不備が生じているのではないか。

佐藤町長 これまで副町長が二人であったことはなく、現在が一人の状態であつても不備はない。また、教育長として要請している人物は有能で教育熱心である。それ以上の人物はほかに見当たらず、空白期間の理解がほしい。

医療復旧

山田病院候補地の再考を

先に示した3案でいく

質問 町は県立山田病院の候補地として、ABCの3案を示したが、高台移転や消防署との隣接、そして町道細浦柳沢線沿いとした共通点からいって、実は1つか2つの案とみてもよい。

町長は平成24年第3回定例会の中で、旧山田病院跡地（八幡町）も候補地の一つに検討するということがあつたが、復興計画後は安全性が増すその跡地をなぜ候補地に加えなかったのか。

佐藤町長 跡地の面積は約5370㎡であり、周辺が浸水をした。

県が選定条件として示す条件は10000㎡の敷地があることや周辺も浸水しないことなどであり、跡地はそれに該当せず、推薦候補には入れなかった。

そのほかの質問

◆災害公営住宅（町営）の構想について

◆バス（公共）交通の本格的な運用の検討について